



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく接し たくましく生活する」

葦中だより

住所:伊豆の国市葦山葦山393

電話番号: 055-949-1061

令和2年1月7日発行

第43号

新しい年に希望を持ち一生懸命生きる!



伊豆の国市立葦山中学校長 手島雅恵

12日間の冬休みが終わりました。元気よく登校してきた子どもたちの姿に、各家庭において充実した生活を過ごして、心も体もリフレッシュできたことが伺えました。いよいよ令和2年の始まりです。今年は「東京2020オリンピック・パラリンピックイヤー」ということで今までとは全く違った景色が見られるのではないのでしょうか。日本中の人々がたくさんの元気や勇気をもらえる、多くの歓喜の音がわき起こってくる、世界中の人々と交流ができる、そして日本の、日本人のよさを再発見できるなど、今からわくわくしてきます。子供たちには様々な人々と積極的に関わりを持ち、いい刺激をもらいながら自分のこれからの生き方につなげてほしいですね。地に足をしっかり付けて、踏ん張ってほしいです。

さて、私は始業式で宮沢賢治の「雨にも負けず、風にも負けず」を朗読しました。人としての尊さを感じさせてくれる名作です。「そういうものに わたしはなりたい」という最後の言葉をかみしめながら、子供たちに次のような話をしました。

みなさんは「どんな人になりたい」ですか。人は感謝してもらおうと思って人のために何かをするのではありません。いつも自分自身を見つめ続けていくことで、無償の行動を起こすことで、何かが見えてくるのです。

「これが自分なのだ」と自信を持って言えるように、いつかなるのです。

始業式が終わって「雨にも負けず、風にも負けず…その次は、何だっけ」という子供たちのつぶやきが聞こえてきました。「いいものは語り継がれる」ですね。

今年の干支である子年は新しい物事や運気のサイクルが始まる、繁栄の年になると考えられているそうです。また、ネズミは七福神の一人、大黒天の使いとされています。子供たちには、いつもの新年以上にネズミの福と運氣にあやかり、自分自身の目標に向かって突き進んでほしいです。

私たち教職員一同、今年度の締めくくりとなる3学期を、子どもたちが目標に向かって飛躍していく、実り多き学校教育活動に努めていきたいと思っております。子どもたちとともに誠心誠意頑張っていきますので、これまでと変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願い致します。

わそ たう しい はう なも りの たに い	苦 らみ にめ もら され れも ずせ ず	寒 さの はか らお ほろ おと 呼ば れ	日 のり な夏 は時 はか らお ほろ おと 呼ば れ	つ ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	北 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	行 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	西 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	東 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	小 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	野 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	そ に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	自 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	あ に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	味 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	一 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	決 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	悠 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	丈 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	雪 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	雨 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ	雨 に ら な はか らお ほろ おと 呼ば れ
---	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

日本ならではの伝統文化～書き初め～



十二月に入ってから、国語書写授業で「書き初め」が始まりました。書き初めは、「平安時代の宮中行事が起源で、寺子屋から庶民に広がり、学校教育に定着した行事」ということです。子供たちが書初めに向かう姿は日本人ならではのものだなと、ほっとさせられます。一点一画、心を込めて書かれた文字が、その人の心が伝わってくるのは不思議なものです。日本の伝統文化をこれからも大切にしていきたいです。

子供たちの決意は熱い!

2学期終業式で3人の生徒が語った言葉の一部を抜粋しました。並々ならぬ思いを持っていることに感激しました。そして、多くの仲間にも勇気を与えてくれました。

★学期の中で一番長く一番濃厚な2学期でした。その中で相手の意見を尊重することも、自分の気持ちを貫き通すのもどちらも同じように大切なんだと実感できました。本音を隠して自分が苦しい思いをしてストレスを抱えるよりも、自分の本当の気持ちと向き合って自分の本音言うことは恥ずかしいことではないです。本音を言って否定されてもその考えを貫き通すことができる、また、自分の意見だけでなく、相手の意見を聞き柔軟に対応できる、その二つのことを持ち合わせた人こそが、強い心の持ち主だと私は思います。受検までの2ヶ月、しっかりと自分の意志を持ち、強い心を持って、最後まで全力で駆け抜けたと思います。(3年 信保光香さん)

★初めての青雲祭は、私にみんなで協力してやり遂げることに、一生懸命取り組むことの大切さを教えてくれました。何かを創り上げていくにはとても時間がかかるけれどみんなが「やろう!」という気持ちを持つと、充実した練習ができ、みんなで笑顔になれることを知りました。これからも何事も前向きに取り組んでいこうと思います。(1年 尾村彩音さん)

★2年生の3学期は「3年生としての0学期」と言われます。3年生の準備期間としてやっておかなければいけないものがあります。それは勉強です。学力補充も始まり、受検勉強がスタートした気持ちになりました。これから学習内容もさらに難しくなります。学校での授業や自宅での復習を真面目に取り組んで学力を向上させたいです。3年生になる自覚を持ち、充実した生活を送れるよう頑張りたいです。(2年 小川慶志さん)



地域の一端を担う!

写真は四日町区の地域防災訓練の様子です。蕪中生も地域の方々に交じって心肺蘇生法・AEDの使い方や負傷した人の搬送方法など体験を通して学ぶことができました。これからも中学生としてできることを意識し、頑張りたいです。

保護者の方からのご意見・感想
()年()組() (生徒名)

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。